

みんなの 町議会

 神石高原町

新しい制服で緊張の表情
開校した神石高原中学校入学式

第 38 号

平成26年 4月15日

- 合併10周年記念事業(今年の予算) … 4
- 11億円積み立て(3月補正予算) …… 9
- 町政のここを聞く(一般質問) ……10
- 町の未来をみんなで(議会報告会) …23

2000万円

前年比 0.3%減

3月 定例会

病院
事業会計

4億5131万円

9441万円

収入 の創設

「地域の元気創造事業費」

- 交付税の別枠加算について、地域経済への影響を考慮し、新たに「地域の元気創造事業」が創設され、地域経済活性化の成果と併せて算定することになっていきます。
- 自主財源は、7731万円（前年度比5・0%）の増額を見込み、依存財源は1億731万円（前年度比1・4%）の減額となっています。

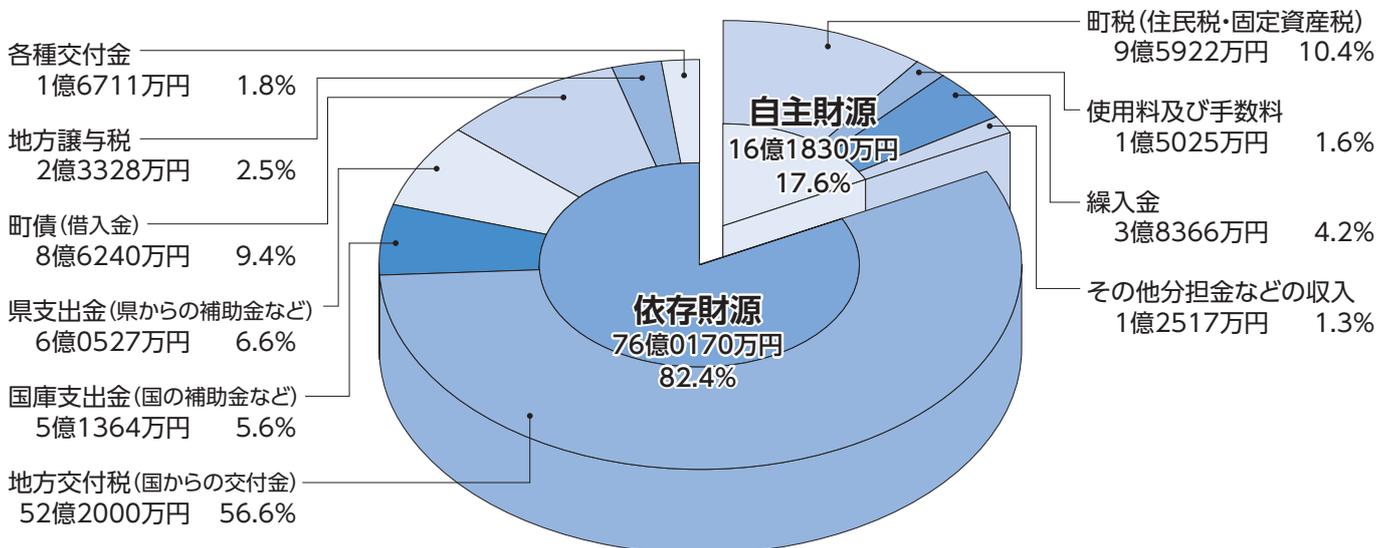
町長は、施政方針で、合併後10年の節目を迎えるにあたり、「新たな挑戦」をスローガンに掲げ、「知恵は地域にある」、「知恵は宝を生む」、「逆転の発想」といった姿勢で新たな町政に取り組むと述べられました。

合併10年の節目 「新たな挑戦」

3月定例会は、3月3日から20日まで開かれました。町長が施政方針を述べた後、提出された平成26年度当初予算など、96議案を慎重に審議した結果、いずれも原案通り可決しました。一般質問には10人の議員が、町政の課題についてただしました。

歳出予算のなかみ

収入



26年度 予算

一般会計

92億

会計別予算総括表

単位：万円・%（四捨五入）

会計名	H26年度	H25年度	比較	
	歳出決算額	歳出決算額	増減額	前年比
一般会計	92億2000	92億5000	▲3000	▲0.3
国民健康保険特別会計	11億4390	11億6400	▲2010	▲1.7
内事業勘定	11億4000	11億6000	▲2000	▲1.7
診療施設勘定	390	400	▲10	▲2.5
後期高齢者医療特別会計	3億9640	4億1500	▲1860	▲4.5
介護保険特別会計	19億3380	19億1060	2320	1.2
内保険事業勘定	19億1680	18億9560	2120	1.1
介護サービス事業勘定	1700	1500	200	13.3
簡易水道事業特別会計	2億	1億8660	1340	7.2
飲料水供給施設事業特別会計	3940	3700	240	6.5
農業集落排水事業特別会計	2億5740	2億5000	740	3.0
分収育林事業特別会計	10	10	0	0
総合開発事業特別会計	5210	4920	290	5.9
特別会計計	40億2310	40億1250	1060	0.3
病院事業会計	4億5131	2億180	2億4951	123.6
合計	136億9441	134億6430	2億3011	1.70

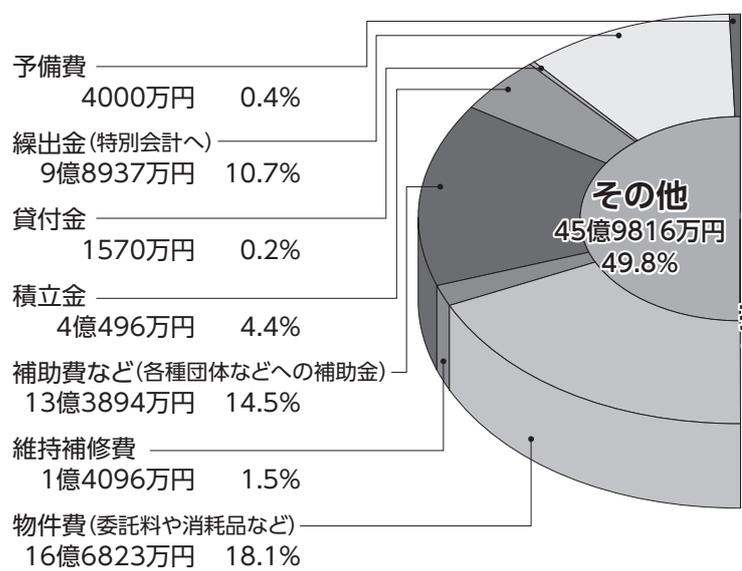
特別会計 40億2310万円
総額 136億

支出

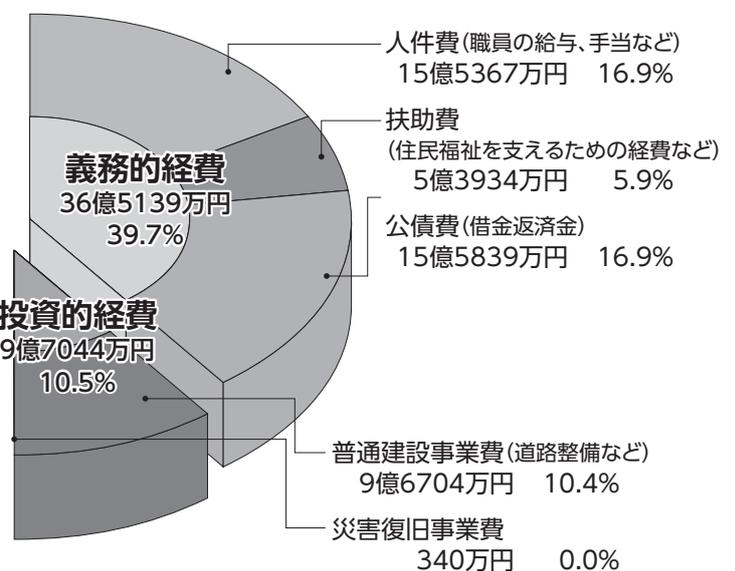
消費税率の引き上げによる影響を最大限に抑制

・公債費（借金返済金）は、1億829万円（前年度比6・5%）減額であり、起債抑制や繰り上げ償還の効果が表れています。
 ・その他経費は、1億1893万円（前年度比2・7%）の増額は、消費税率の引き上げによる影響（1億5000万円程度）を受け、積立金、繰出金をのりこみよほどの経費において増加しています。

支出



一般会計 歳入



新規・拡充事業



とよまつふれあいフェスティバル



さんわふるさとフェア

新

協働のまちづくり支援

まちづくりの主役である町民との協働を推進するため、町民活動が取り組む協働事業及び主体的・自発的に取り組むまちづくりを支援する。

油木地区	500万円	神石地区	470万円
豊松地区	390万円	三和地区	640万円

新

合併10周年記念

合併10周年を契機に町民一体感の熟成を図る。
本年11月9日(日曜日)を予定している。

実行委員会委員報酬	27万円
合併10周年記念事業費	200万円
その他報償費など	73万円

新

消防施設整備

消防小型ポンプ積載車配備に伴い、会議室、車両格納庫併設の消防屯所新築

事業費 2400万円



消防屯所



積載車の使用説明

今年予算 主な



建て替える小島住宅

新 町営住宅建替え

既存の小島住宅の劣化による、新規住宅の建替え 13戸
 平成26年度は設計 平成27年度A棟、28年度B棟建設
 事業費 1412万円 (26年度)



ふれあい神石まつり



ゆきふるさとまつり

拡

有害鳥獣対策

有害鳥獣捕獲対策協議会による防止対策
 及び地域住民による被害防止策を図る。

捕獲奨励 (増額) サル2万円 シカ1万円

(追加) アライグマ 千円

広島県クマレンジャー新規加盟

パイプハウス型サル捕獲柵 3基

クマ捕獲わな 1基

事業費 2187万円



サル捕獲柵

予算はどうなっとなるん

予算特別委員会

予算特別委員会は、4日間の日程で平成26年度当初予算を審議し、自由な質疑や意見の陳述、討論が活発に行われ、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

総務課

消防無線整備は

橋本議員 消防デジタル無線整備計画は、

総務課長 平成27年度に整備予定。

消防車両に配備予定だが、消防団と協議し決定する。

まちづくり推進課

かがやき便り放送の充実を

橋本議員 かがやき

便りの内容充実のため、グループ活動の紹介や人を対象にした番組制作に取り組みべきでは。

まちづくり推進課長

ケーブルラジオイと協議し検討する。

買い物困難者支援は

久保田議員 買い物困難者支援の検討結果は。

まちづくり推進課長

ローソン号での販売は継続し、他地域にも拡大するため予算計上している。

雇用対策は

松本議員 正規雇用に関する対応でないという意味がないのでは。

まちづくり推進課長

起業支援型雇用対策、地域づくり事業は

雇用の継続を目的としている。現在5事業所で10人の雇用を継続している。

10周年記念事業は

松本議員 町民が展望を持てるように、また地域や団体で頑張っている人を表彰すべきでは。

まちづくり推進課長

企画内容は、実行委員会でも検討。地域の方の表彰は実施する予定。

ナマズ大王の絵本は

赤木議員 ナマズの商品化検討について、昨年新聞でもとりあげられた「ナマズ大王」の絵本はPRとして有効だが、どうなっているのか。

まちづくり推進課長

絵本は神石高原町観光協会の所有となっている。現在は町内小学校を回覧中。観光協会のHPに電子絵本として掲載されている。将来は観光協会でも出版を検討中。

温泉資源活用は

横山議員 温泉資源活用検討事業があるが、見直しはあるのか。

まちづくり推進課長

旧三和町で「三和温泉」として県に登録。涌出量などの資源調査費用として計上。

ふるさと納税の拡充は

横尾議員 町外へ住所のある職員のふるさと納税の状況は。また、ふるさと産品を利用したふるさと納税の拡充は。

まちづくり推進課長

平成25年度は52人中5人で8.5万円だ。引き続き奨励していきたい。またふるさと産品の利用は、神石牛のブランド化も含めて検討したい。

女性の登用は

久保田議員 管理職と教育委員の女性登用を。

町長 女性管理職は適材適所で選ぶ。教育委員にも登用したい。



これが「ナマズ大王」だ



運行するスクールバス(神石高原中)

**地域づくり事業に
国費運用を**

村上議員 域学連携
地域づくり事業に国費
が使えないのか。

まちづくり推進課長
町費で大学生が本町
で学習し、維持再生案
の計画書を提出する。
国費は大学の単位取得
できるカリキュラムを
構成し、継続的に事業
実施が条件なので対応
していない。

村上議員 支援員や
協力隊員の実績や実力
が発揮されるための指
導は。

まちづくり推進課長
個々の特性や能力を
十分に発揮できる研修
などを行っている。地
区担当支援員は経験者
を任命している。

住民課

なぜ廃止か

片山議員 税の前納
報奨金をなぜ廃止にす
るのか。

住民課長 住民税の約
7割は、給与・年金か
らの徴収のため報奨金
制度のメリットは少な
い。

学校教育課

スクールバスの管理は

橋本議員 スクール
バスの車両管理・運行
管理のチェック体制は。

教育課長 管理などは
業者へ委託し、教育委
員会では、月一回の
チェックを行っている。

保健課

医療事故での責任は

久保田議員 町立病院
の管理は町、運営は陽
正会、院長は県職員で
所属が違うが医療事故
が起きた場合の責任の
所在は。

町長 医療事故につい
ては、陽正会、県と十
分協議を行うが、町に
も責任があると思う。

赤字か黒字か

片山議員 町立病院
の事業会計は5年間赤
字か黒字か。

保健課長補佐 町から
の政策医療交付金を含
めると5年間黒字。

電子カルテの導入は

松本議員 医事会計
システムの更新により、
電子カルテを導入する
のか。待ち時間の短縮
は。

保健課長補佐 電子カ
ルテは27年度導入予
定。待ち時間の短縮に
つながると思う。

奨学金の支給状況は

赤木議員 医療奨学
生への支給状況はどう
なっているのか。また、
定員の設定は。

保健課長補佐 医学生
1名、看護学生3人に
支給中。県内から3件、
県外からは1件である
が、町内からはいない。
支給対象の人数に関し
ては町内の医療状況を
見ながら決定する。

機能強化とは

横尾議員 地域包括
ケア体制づくりに向け
た地域包括支援セン
ターの機能強化とは。

保健課長補佐 医療と
介護、関係機関と連携
のとれるように、会議
や情報交換会の実施、
アンケートを取り、体
制づくりを図ること。
また、医師などによる
iPadへの入力に

横山議員 昨年12月
にとよまつ保育所は改
修の必要はないと答弁
があったが、保育所改
修工事費に4300万
の予算計上があるのは
なぜか。

福祉課長 以前から雨
漏りがしており、屋根
の改修をせざるを得な
い状況になった。

より訪問看護師やヘルパーとの情報の共有を行う。

環境衛生課

適正飼育の啓発は

片山議員 野犬保護費として、NPO法人に35頭分162万円を予算化しているが、適正飼育の啓発につとめるべきでは。

環境衛生課長 ペットの飼育は、飼い主の全責任にあるので、適正飼育の啓発は随時行っている。

産業課

鳥獣被害対策は

横尾議員 鳥獣被害の中で地域を挙げての対策とは。

産業課長 サル捕獲柵

を3基設置し説明を行う。また、野菜の残さによるえさ場をなくす取り組みも行う。

生涯学習課

スポーツ教育に充実を

村上議員 東京オリンピックに向けて、スポーツ教室の送迎や指導員支援強化を行っている。



仙養ヶ原ドッグラン

田舎でも挑戦できる環境を。

生涯学習課長 スポーツ教室は15カ所あり、送迎については保護者での対応をお願いしている。



委員長報告要旨

藤田晃己 委員長

平成26年度神石高原町一般会計予算など、10件にわたり、町長はじめ関係課長などの出席を求め、活発な審議のもと、慎重審議を行った。審査結果について、全議案ともいずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

事業の執行体制の改善

平成25年度では、適切な執行時期を逸し、繰越事業の事故繰越といった前代未聞の事態が発生した。単独町費事業においても、多くの繰越がみられた。早期の準備と万全の執行体制を整え、適切な執行を強く要望する。

町立病院の機能充実

指定管理者との連携のあり方などを含めて総合的に検討され、町民の安心のよりどころとして十分に機能することや、福祉・介護施設との連携についても早急に検討を要望する。

保育所の指定管理

次代を担う本町の子どもたちが、健やかに成長すべく、多様化する保護者の要望に応えられる施設となるよう運営されることを要望する。

11億円

協働の町づくり
基金積立金へ

3月
補正

一般会計

単位：万円(四捨五入)

費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費	0	8568	
総務費	▲5151	14億7627	普通財産管理経費▲695 未来創造支援事業▲1969
民生費	▲5756	17億2181	後期高齢者医療特別会計繰出経費▲4203
衛生費	45	10億7389	一般廃棄物収集処理事業 159
農林水産費	▲448	7億9613	農村地域総合推進事業 524
商工費	▲473	1億330	雇用促進奨励助成事業▲400
土木費	▲6495	6億1600	単独町道整備事業▲4024
消防費	▲2598	3億9611	常備消防経費▲1043
教育費	▲7448	9億2402	統合中学校建設事業▲6150
災害復旧費	▲2863	1億4844	現年発生道路橋りょう災害事業▲1139
公債費	▲1281	19億844	長期債利子償還経費▲964
諸支出金	13億5899	23億9601	減債基金積立 2億6000 協働の町づくり基金積立 11億円
予備費		4000	
合計	10億3432	116億8610	

一般会計では、10億3431万円増額され、総額116億8610万円となりました。一般会計補正予算の主なものは、単独町道整備事業費4032万円など減額補正し、協働の町づくり基金積立経費11億円、減債基金に2億6000万円の増額補正です。
特別会計など含む全会計の総額は159億751万円となりました。

特別会計 病院事業会計

単位：万円(四捨五入)

会計名	3月補正	補正後額
国民健康保険 事業勘定	▲3551	11億4763
診療施設勘定	0	400
後期高齢者医療	▲4726	3億7948
介護保険事業 保険事業勘定	▲124	19億1365
介護サービス事業勘定	0	1549
簡易水道事業	▲755	1億9925
飲料水供給施設事業	0	4099
農業集落排水事業	▲262	2億5998
総合開発事業	▲1269	3652
分収育林事業	0	10
小計	▲1億687	39億9696
病院事業会計	3536	2億4524
合計	▲7150	42億4232



寄贈された日産EV(電気自動車)

町政の1111を聞く

質問時間は、答弁を合わせて一人二時間以内で一問二答方式



久保田 龍泉 議員

問 旧神石中学校跡地活用は

答 地元と協議をしたい

Q 旧神石中学校跡地利用について、地元の方は高い関心があり、どうなるのか心配している。今後の利用計画策定の進め方は。

A 町長 地元から要望が出ていますが、財源などの問題もあり年次計画が必要だ。

Q 利用計画について町だけで決定するのか。

A 町長 まだ未定だが、地元住民の要望を再確認し、計画性

を持ってやりたい。いずれにしても26年度から協議していく。

原谷神石線の改良は

Q 県道原谷神石線は、神石地区中心部から上下町へのアクセス道だ。小塚消防署への最短距離でもあり地元住民は多く利用している。路肩の一部崩壊が見られ、冬期には積雪、凍結で危険なため通行できない。改良予定は。

A 町長 町内には一般県道の危険な箇所は相当ある。格付けが主要地方道より下であり、改良には時間がかかる。

Q 原谷神石線の改良は町へ移管して整備する考えはないか。

A 町長 現在、県からの町への権限委譲で県道三和油木線を改良中だが、完了には10年以上かかる工事だ。町では1路線しか

できず、この路線は対象外である。しかし、道路改良については地元の要望書を出すことも有効だ。

通夜のできる設備改善を

Q やすらぎ苑での通夜は25年度29件利用がある。通夜のできる専用部屋が必要ではないか。また、シャワーなど設備をし、利用しやすい施設に改良しては。

A 環境衛生課長 通夜は大部屋で間仕切りをして利用している。今後は重複も考えられる。趣旨を検討して、使いやすい方法を考えてみたい。



やすらぎ苑



寄定 秀幸 議員

問 エネルギーの地産・地消 具体策は

答 バイオマス発電なども検討

Q 原発や化石燃料に依存しない、地球環境に優しいエネルギー政策が求められている。

A 再生可能エネルギーやバイオマスの活用によるエネルギーの地産・地消を目指すべきでは。

A 町長 平成21年度に新エネルギービジョンを作成した。平成22年度では、バイオマスボイラー導入と仁吾川小水力発電の具体化を検討したが、採算

面で実現しなかった。将来的にも再生可能エネルギー導入は必要と考えている。

Q 持続可能な循環型社会構築のため、新エネルギービジョンの実現を総合的に検討すべきでは。

A 町長 町の豊富な山林資源を生かしたバイオマス発電を検討している。

現在は太陽光パネル設置や薪ストーブ導入などへ支援を行っており、今後も様々なエネルギー資源の活用による総合的な取り組みに発展させたい。

Q バイオマス発電の具体的な取り組みは。

A 町長 木質だけでは燃料となる原料が足りないので、生ゴミを活用したバイオマス発電に取り組みた

い。将来的にはRDFについても模索・検討する。

A 副町長 発電だけでなく、発熱を活用した温室栽培なども併せて検討したい。

地域包括ケアシステムの取り組み

Q 地域包括ケアシステムは、医療・介護・予防・住まい・生活が一体的に提供されるシステムであるが、町としてどう取り組むのか。

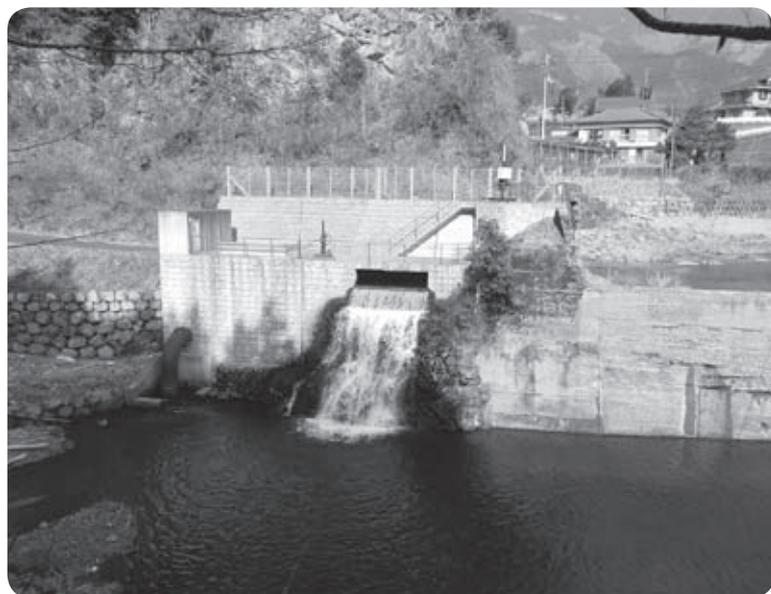
A 町長 平成26年度に、第6期高齢者プラン策定において、地域包括ケアシステムに向けた具体的な行動計画を策定予定である。

Q 生活支援コーディネーター配備など、地域包括支援センターの強化充実や情報共有が必要では。

A 町長 医療・介護の連携が十分とは思えないので情報共有が必要である。総合的にコーディネートする体制が必要であると思う。

Q 健康長寿社会を支えるため、ICT活用を総合的に検討すべきでは。

A 町長 戦略会議で総合的に検討したい。



小水力発電所（高知県梶原町）

問 過剰施設の解消は

答 貸し付け・売却・解体で



丸山 達夫 議員

Q 合併時から、3つの過剰解消を提唱し、債務・人員は計画通り成果が見られる。3つ目の施設については、学校統合などで遊休施設が増加にある中、今後施設の解消に向けての取り組みは。

A 町長 債務・人員の削減は計画が出来るが、施設の整理削減計画は困難である。空き校舎も不用と云えないが、出来る限り、多目的に使用の思いは



退所した子どもたち(いずみ保育所)

ある。

多大な財源も必要だが現段階では計画はない。不必要の物件に対しては早く実行する事を基本姿勢に、新年度で地元と協議し検討する。

現在、来見中学校とゴミ焼却炉3カ所の解体工事中だ。また売却処分も行っている。

Q 不用財産の調査整理を行い、町民や自治振興会などの団体に、有効利用や売却も含め、情報発信をしては。

A 町長 調査整理を行い、町民や各種団体、及び民間企業に貸付、売却を広く周知していく。

いずみ保育所新築
移転の考えは

Q 旧神石中学校跡地の検討委員会の答申の中にある、保育所の新築移転についての考えは。

A 町長 保育所の新築移転については旧校舎の解体も必要で、多額の予算も必要であり、保育所の状況なども含め調査検討したい。旧神石中学校グラウンドは多目的広場として利用を決めているが旧校舎は、26年度に担当課で協議会を設置し具体的内容を検討したい。

Q 旧神石中学校校舎をいずみ保育所として利用するのであれば、施設の安全を考慮すべきでは。

A 町長 建物の老朽化・耐震強度の調査を総合的に行うが、出来る限り地元からの答申に添えるよう検討する。

※主な遊休財産

- 旧高蓋小学校・体育館
- 旧二幸小学校
- 旧永野南小学校
- 旧小野中学校
- 旧新坂小学校





松本 彰夫 議員

問 新庁舎の建設は

答 国道182号線沿に

Q 重点公共施設の新設整備資金の積立も行われ、新町建設計画の中にも、新庁舎の建設が加えられた。

A 建設場所については、合併協議会の中で182号線沿いとされているが、具体的な新庁舎の建設をどのように考えているのか。

A 町長 新庁舎の建設は、合併時に国道沿いで、町の中心点付近との申し合わせがあり、これを尊重すべきである。

A 庁舎の建設には補助金はなく、合併特例債しかないが、これも平成31年度で完了する。これらを考えると平成29年度から30年度くらいが良いのではないかとと思う。

A 重点公共施設新設整備基金も現在1億5千万円積立してあるが、最低3億円は積み立てたい。

A 任期中に、建設場所、時期を決めたい。

町立病院の運営は

Q 26年度からの病院運営で、医師の確保は。

A 町長 各方面に医師の確保をお願いしているが確保は難しい。現状のまままで運営したい。

Q 午後の診察、土曜日の診察は。

A 町長 救急病院の指定を受けているので、土曜日や午後の診察も行っているが、診療時間の拡大は難しい。

Q 町民が望んでいる看取りの対応は。

A 町長 訪問診療と訪問看護により、できる限り対応している。

Q 透析患者の対応は。

A 町長 透析機器の更新を行い、できるだけ継続する。

工事が遅れた原因は

Q 神石高原中学校の工事が遅れた原因は。

A 教育長 直接の原因は関東地方の雪害である。そして入札の不調も原因である。

Q 保護者への説明は。

A 教育長 保護者には各地域ごとに説明会を開催する。

Q 工事の遅れで、教育内容に影響はないのか。

A 教育長 教育内容には影響ない。

Q 新中学校のクラブ活動の内容は。

A 教育長 統合前のクラブ活動を参考に考える。あくまで新中学校の校長の判断だ。



町立病院の医療機器

問 水田政策の展望は

答 早急に検討し周知する



村上 克朗 議員

Q 国が1/2、県が1/4、町が1/4の制度を新年度予算に計上しているのか。

A 町長 3月18日に中山間集落協定組織に説明会を行い農業者に周知したい。

Q 新たに26年から多面的機能の維持・発揮を図るため、地域内の農業者が共同で取り組む活動「農地維持支払」「資源向上支払」が始まるが、申請手続きの説明は。

A 町長 共同活動支援事業の12団体、向上活動支援事業の5団体などに予算化している。国の制度によっては、補正予算で組み替える。

Q 飼料用米・米粉用米の増産を図るために多収性品種の導入の普及や、乾燥調製機などの予測を設定した予算確保は。

A 町長 当初予算には計上していない。多収性品種の種採りをJAなどと取り組んだが、26年産米での取り組みは出来なかった。

Q 飼料用米をライスセンターで乾燥調製機及び、貯蔵施設などを整備し、和牛飼育者に販売し、肉質の向上で、神石牛の復活に取り組みべきでは。

A 町長 主食米との混合を避ける方法や流通販売体制など和牛飼育者への需要調査など検討が必要。飼料稲には本年度から、単独町費で1ロール600円の支援を行う。飼料用米への町補助金も今後検討したい。

Q 「水田活用の直接支払い交付金」の麦、大豆、飼料作物3.5万円、飼料用稲8万円、加工用米2万円への支援件数は。

A 町長 麦は2件で57万円、大豆は40件で、223万円、飼料用作物は79件で1205万円、wcs飼料稲は20件で2048万円、加工用米への取り組みは無い。そばは、2件で3・6万円の実績だ。

県に強く要望すべき

Q 一般県道布賀油木線ほか16路線の改良率は広島県内で最低の40・7%であり、スクールバス路線の未改良区間が多い。道路は生活へのバロメーターであり、県に強く要望すべきでは。

A 町長 25年4月1日、主要地方道の改良率は77・5%、一般県道は40・8%とわずかではあるが上がっている。26年度は国道182号、主要地方道吉舎油木線、芳井油木線、一般県道木割谷小吹線、草木高光線、三和油木線において継続で予算措置の予定であり引き続き要望を続ける。



県道改良(草木高光線)



片山 元八郎 議員

問 町立病院 2 期目の 運営方針は

答 非常に厳しい運営だ

Q 町立病院の過去 5 年間の検証を踏まえて、2 期目の運営は
どう行うのか。

A 町長 平成 21 年に町への移管が決まった。指定管理者の公募に当たっては、県立病院時代の病床数、診療科目などの規模を継承して運営することを条件とした。

移管後の 5 年間に
いて、本町の人口減少、
医師不足、医療制度の
改革など、医療をめぐる
情勢も変わってきて

おり、入院稼働率も下がってきている。これからの 5 年間で、現状のまま存続していくことは無理である。今後早急に、町立病院のありかたについて検討していきたい。

Q 病床数を減らして在宅緩和ケア・看取りに舵を切るのか。

A 町長 国は在宅医療を重点に考えているが本町では、本人や家族の状況、生活環境により、在宅での介護と施設入所を希望される方にわかれる。今後、在宅サービスと施設サービスのバランスをとり、本人や家族のニーズに応じることのできる体制をつくって

いきたい。

Q 常勤医不足や建物の耐震化にどう対処するのか。

A 町長 医師不足は、国全体の問題である。陽正会には、医師確保をお願いしている。県立病院などにも医師の派遣について、お願いしてきた。

移管以来、常勤医師 5 名は確保してきた。今後も努力していきたい。建物については旧

館の耐震基準値が 0.3 以下のため、適正な病床数と合わせ、新築もしくは改修について検討する。

Q 耐震基準値が 0.3 以下は、緊急に新築又は改築が必要な数値なのか。

A 町長 私見だが、現在の 95 床の五割程度の 50 床くらいと考

る。早急に、旧館の改築又は新築の方向性を出したいと考える。

※耐震基準値

IS 値とは、建物の耐震性能を示す指標で、IS 値 0.6 以上で耐震性能を満たすとされている。

IS 値 0.3 未満

倒壊や崩壊の危険性が高い建物。

IS 値 0.3 以上 0.6

未満

倒壊や崩壊の危険性がある建物。

IS 値 0.6 以上

倒壊や崩壊の危険性が低い建物。



町立病院

問 道徳教育の取り組みは

答 指導力・授業力の向上を重視



赤木 俊二 議員

Q 文部科学省は27年度を目標に、道徳の教科化を検討している。その背景に、子どもたちを取り巻くいじめや学級崩壊の問題、生命尊重の心の不十分さ、規範意識の低下などの現状がある。

A 教育長 道徳教育は重要との認識は持っている。道徳教育推進協議会を主体として、学校を会場とした道徳教育の授業参観、及びその後の研究協議を通しての指導力の向上を図っている。国からはつきりとした方針は出ていないが、来年度からの授業力の向上を今まで以上に重視して行く。



油木小学校授業風景

Q 道徳教育の教材が一新され、教育現場の混乱が考えられる。支援策が必要では。

A 教育長 教育委員会と学校が、一体となって、進めていく。

家庭教育への関わりは

Q 生活や価値観の多様化が進む現代、保護者の規範意識が低下し、家庭や地域の教育力が低下している。家庭教育の中心であるPTAと、どのように関わっているのか。

A 教育長 社会教育団体として、その活動が主体的・自主的であることが望ましいと考える。教育委員会では財政的支援をすることでのその活動の充実を図っている。

いとあるが、ある程度の関与は必要では。

A 教育長 現在、PTAの役員会・研修会で意見要望をうかがい、教育行政に反映しているが、PTAを対象とした関わりには十分に取り組めていない。PTAは子どもや地域の教育力の要なので、今後もう少し積極的に関与できるところはする。

Q PTA活動への介入はふさわしくないとこの立場は理解できているが、お金だけ出して、あとは知らないというわけにはいかないと。関係法令によると積極的な関与はできない。

※平成25年度
神石郡PTA連合会の活動内容

神石郡PTA研修会開催
広島県PTA研修会参加
中国ブロック研修会参加
日本PTA研修会参加
広島県母親代研修会参加
町行政（教育委員会）への要望書提出
町行政からの要望に対する報告会



横山 素子 議員

問 校舎建設中の 安全確保は

答 安全対策に万全を期する

Q 神石高原中学校の進捗状況は。

A 教育長 3月10日現在では、屋根や外構工事など遅れはあるが進捗率は93%である。

Q 雪害により遅れた屋根工事の完成はいつになるのか。

A 教育長 屋根材の搬入も決まり、4月7日の入学式までには屋根工事は終了したい。すべてが終わるのは5月末としている。

Q 工事車両や工事作業員が敷地内で作業している中、授業を開始することは生徒が集中して勉強できないのでは。

A 教育長 安全に配慮しながら学校運営に努めていきたい。

Q 未完成の学校で開校するよりも、完成まで旧油木中学校で授業をすることは考えないのか。

A 教育長 生徒達の強い希望もあり、教職員の負担なども考え開校を判断した。

交差点の 安全対策は

Q 通学路となるシルトピア入口付近の

A 町長 白線や道路標識は公安委員会との協議が必要になる。広域農道に向けてドット停止線の設置を行う予定だ。

Q 町道京羅迫線の歩道設置工事が未着工だ。なぜ遅れたのか。今後の予定は。

A 町長 公安委員会との交差点協議で法線の決定が遅れ、地権者との協議も遅れた。

しかし、協議が遅れたというの理由はならないかと思っている。今後このような事がないように担当課に指導をしていく。

3月中に工事を発注し、4月1日契約の準備を進めている。

橋梁の補修計画は

Q 橋梁調査の結果及び今後の補修計画は。

A 町長 平成25年度に383橋の点検調査を実施し、新年度に長寿命化修繕計画の

策定を行い、維持・補修内容の協議・検討の資料とする。

Q 緊急を要する橋が15力所あるが、26年度中に補修にとりかかるのか。

A 建設課長 緊急性の高い橋については、補修状況や交通量なども考慮しながら検討していく。



開校した神石高原中学校

問 地域連携室に町職員の常駐を

答 現体制では困難



横尾 正文 議員

Q 町立病院の地域連携室に町職員が常駐することによって、町立病院と他の医療機関などとの連携はできないか。

合併前の御調町は、みつき総合病院の山口院長の提起を行政が支援し、全国モデルとなる「地域包括体制」をつくったと聞いている。

病院内に行政が入り、行政と病院の両者の専門職の連携により保健センターを設置



地域包括センター

し、成果を上げているようだが、このような考えはないか。

A 町長 町職員の常駐については陽正会からも要望がきているが、今の体制では無理である。しかし将来的な課題として検討していきたい。

また町の職員をある程度派遣すればいいが、1人だけでは埋没してしまう恐れがある。

改革時には、保健課全体の移動も考えた

る。

Q 町立病院内に保健課全体を常駐させてはどうか。

A 町長 今のスペースでは無理である

が、町立病院の旧館は耐震強度が不足しており近い将来改築が必要だ。

改築時には、保健課全体の移動も考えた

レセプトデータの活用を

Q レセプトデータの活用のポイント

①保険者に手間がかからず、医科と調剤のレセプトと特定健診のデータを業者に渡すだけで、すべてがアウトソーシングで実施できる。

②効果の見える保険事業という点であるが、次の事業展開を取り組めないか。

- ・糖尿病重症化防止
- ・受診勧奨指導
- ・重複・頻回受診者指導
- ・薬剤併用禁忌対象者抽出
- ・ジェネリック医薬品差額通知

A 町長 国保のデータでは検査数値がわからないが、特定健診のデータでは検査数値がわかるので、糖尿

病重症化防止の指導や受診勧奨の数値抽出は行っている。

今後は先進地の取り組みを調査し、さらに推進していきたい。

***その他の質問**
総合窓口の設置について

※レセプト
診療報酬明細書のことで、このデータには診療年月・受診した医療機関・調剤薬局・疾病名・診療内容などがある。

※アウトソーシング
外部委託のこと。



橋本 輝久 議員

問 今後の支所体制は

答 当面維持する

Q 合併以来3つの過剰(債務・人員・施設)は解消にそれぞれの計画にそって着実に成果が表われてきている。職員数が減少傾向だが、3カ所の支所について26年度の体制はどう考えているのか。

A 町長 基本的に、3カ所の支所について当面維持する。業務についても引き続き行う。しかし業務や職員数については、考慮、精査し配置

する。

地域おこし協力隊の取り組みは

Q 地域おこし協力隊は、地域の支援が主な活動だ。新たに取組む活動があるのか。

A 町長 26年度で、3人の隊員を募集する予定だ。1人は観光振興に特化した活動に従事予定だ。具体的には、観光協会と連携した地域資源の有効活用を検討などである。2人については従来の活動予定だ。

観光協会の取り組みは

Q 観光協会は非常にやる気もあり、いろいろな取り組みをしている。ホームページなどあらゆる手段で情報発信しているが、商

工会などの連携を図るべきでは。

A 町長 現在の観光協会は積極性があり、評価している。恋人の聖地認定もひとつの成果だ。商工会とも連携強化を指導していきたい。また今年度から森林セラピー事業を行う予定だが、森のみち協議会の事務局などを委託し、業務分担して観光事業に取り組

みたい。

新中学校と地域の関わりは

Q 神石高原中学校での、開かれた学校づくりとして、どう地域と接し関わっていくのか。

A 教育長 学校がすべきことは地域からの意見を十分に聞き、学校の情報をしっ

かりとお知らせすることだ。学校評議員などを中心とした活動の中で、ホームページや学校通信などで積極的に情報発信していく。

学力向上総合対策事業への取り組みは

Q 小中連携を通じた児童生徒の思考力・判断力・表現力の育成を目的とした学力向上総合対策事業に取り組んでいるが、継続は。

A 教育長 学力向上総合対策事業については神石高原中学校と3小学校の指定になるので、26年度は実施するが、27年度以降についても継続できるよう検討したい。



神石高原マルシェ催し物

条例制定・改正 こんなことが 決まったよ

●油木中学校の閉校に伴い、油木庭球場を廃止
●シルトピア第2グラウンドを設置し、油木・神石中学校グラウンドを多目的グラウンドに変更

全会一致
◆英語指導助手の報酬増額
◆消防団員の退職報奨金増額
◆ふるさと応援寄付金で自治振興会やNPO法人の活動支援ができる。ほか10件

条例の一部改正 15件

全会一致
◆退職する意志を有する職員の募集をすることになった。
(勸奨制度の廃止)
◆簡易水道と農業集落排水の条例が一本化

条例制定

◆協働のまちづくり事業に積立
協働による町づくりに必要な経費。

全会一致
◆工事名
旧来見中学校校舎・屋内運動場解体工事
請負者
(株)武田組三和支店
請負金額
6174万円

工事請負契約の締結

◆工事名
旧焼却施設解体撤去工事
請負者
浅野環境ソリューション(株)広島支店
請負金額
7623万円

全会一致
◆西油木老人集会所の指定管理者の指定
ほか51件

指定管理者の指定

●仙養ヶ原森林公園及び芸術家村の指定管理者
仙養ヶ原観光開発組合から株式会社神石高原ティアガルテンに変更

全会一致
議員発議
手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法」を制定されるよう求める。
提出者 松本彰夫
賛成者 村上克朗



仙養ヶ原

議員の賛否一覧表	木野山孝志	小川清治	片山元八郎	藤田晃己	村上克朗	松本彰夫	丸山達夫	寄定秀幸	久保田龍泉	橋本輝久	横尾正文	妹尾幸太郎	横山素子	赤木俊二
統合中学校新築工事の変更	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
統合中学校付帯工事の変更	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
仙養ヶ原芸術家村・森林公園指定管理	—	○	×	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○
町民庭球場設置及び管理条例の一部を改正	—	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町立グラウンド設置及び管理条例の一部改正	—	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議会の取り組み

議会の活性化

今年度は、合併後10年の節目の年です。議会も初心に返り、新たなステップアップを図ります。

昨年から議会基本条例に基づいて、新たな取り組みに挑戦しています。住民の皆様方のご意見などを取り入れながら、町政に反映できるように、議員として自覚を持ち取り組んでいきたいと思えます。



元気いっぱいの入所式(とよまつ保育所)



入所式での笑顔(くるみ保育所)

議員定例研修会

議員としての資質を自ら向上させるため定例研修会を実施するものです。25年度は、おもに議員定数報酬に関して、研究会を立ち上げ、運営方法やスケジュールの確定をしました。また概要が固まった後、特別委員会の設置を検討しています。

予算特別委員会

新年度の一般会計、各特別会計、病院事業会計を審査し、予算の何が問題なのかなど活発な議論を行い、可否を問います。そして本会議では、委員長報告後、予算案の採決を行います。

議会報告会

議会の活動に関する情報公開を徹底することで、町民の皆様に対し説明責任をはたし、町民の皆様の意見を聴取して、議会運営に反映するものです。



ウキウキ、ワクワク入所式(油木保育所)

追跡

ありゃあどうなったん？

危険遊休施設は 解体処分へ

危険遊休施設には、木造校舎やゴミ焼却場などがある。解体には経費がかかるので、財源の確保をしながら行っていく。処分順としては、立地条件・老朽度・危険度で判断する事になっている。その結果平成25年度には、道路に面している外壁の剥離が見られた旧食糧事務所が解体された。平成26年度は、焼却施設3カ所と旧来見中学校の校舎・体育館の解体が予定されている。さらに中学校の統合により、3地域でそれぞれの旧校舎が遊休施設となるが、地元との協議をし有効利用することが望まれる。



解体前旧食糧事務所



解体後

まちの声

多数のご意見ありがとうございました。
ご意見にお答えします。

○町政の事がよく分かりますので、楽しみに読んでいます。女性議員さん紅一点で大変でしょうが頑張ってください。(65才 女性)
◎女性の感性で、頑張ります。

○多様な事が書いてありますので、勉強のため読ませて頂いております。(90才 女性)

◎ありがとうございます。読みやすい誌面を作って行きます。

○みんなの町議会を読んでボケ防止に役立てています。(89才 女性)

◎皆様に読みやすい広報誌づくりに励みます。

○それぞれの議員さんが、一生懸命取り組んでおられる様子が良くわかります。期待しております。(62才 女性)

◎住民の皆様の期待に添えるよう努力します。

○町道高下田線の三叉路の所に穴があいています。傷は小さい間に手当をするべきと思います。一度現場を見て下さい。(79才 女性)
◎早急に修繕致します。ありがとうございました。

○高齢者の集う場所、交通手段の充実をお願いします。(79才 女性)

◎公共交通機関については今年度、再度検討される予定です。

○いよいよ神石中学校の閉校の日が近づき、散歩の折りも心寂しさに近づいていっています。跡地の使用を有効に願います。(79才 女性)
◎地元との協議予定です。

第20回議会クイズ当選者

- | | |
|------|---------|
| 三和地区 | 平岡美代子さん |
| 神石地区 | 池田ヤチヨさん |
| 三和地区 | 若林 康子さん |
| 豊松地区 | 竹下 民江さん |
| 油木地区 | 岡政 絹江さん |

～安心して暮らせる町づくりへ～

第2回議会報告会の開催

日時と場所

5月12日(月) じんせきの里
 5月13日(火) 三和公民館
 5月14日(水) 油木山村開発センター
 5月15日(木) 陽光の里文化ホール

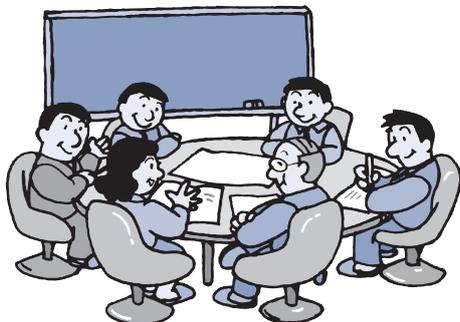
時間

19時～21時(2時間)

テーマ

- ★子育て支援・神石高原ブランド化
- ★有害鳥獣対策・町道維持管理
- ★議会広報のあり方

皆様と意見交換の時間を十分とりますので、神石高原町の未来をみんな語り合います。たくさんのご参加お待ちしております。



奨励賞を受賞

全国町村議会議長会 議会広報コンクール

「みんなの町議会」第34号(平成25年4月発行)が、全国町村議会議長会の議会広報コンクールで奨励賞を受賞しました。この賞を励みに、わかりやすい紙面づくりと町議会を身近に感じてもらえるような議会広報誌を目指して参ります。

現在ケーブルテレビでは、一般質問のみを放送していますが、定例会によっては、条例改正案件などの活発な議論をしている放送も取り入れてはと考えています。また議会広報として、インターネット放送や議会ホームページの開設など、検討課題として取り組みたいと思います。



元気なグループ紹介だよ



「つまみ絵」グループ
豊松教室

「つまみ絵」は、江戸時代から続く伝統手芸で、正方形の薄絹を織って色紙などに貼り付け、花鳥風月を半立体的に表現するものです。

始めたきっかけは、あるお宅を訪問し、作品を拝見し非常に興味を持ったからです。

公民館活動の生涯学習として取り組んでいただき、教室を開始しました。

福山からの先生をお迎えし、生徒5人でのスタートでしたが、現在では10年目を迎える生徒も17人と大所帯となりました。

豊松ふれあいフェスティバルや福山などで、作品展示会を開催し、作成者の方々の励みとなっています。

活動は、月3回行っており、おしゃべりしたり、お茶をのんだり、手作りケーキなどを持ち寄りながら口を動かし、手を動かし、時には口のほうが動きすぎる…なんてこともあります。

これからも、和やかに楽しく作品づくりにがんばっていきましょうと思っています。

代表 金森優子

発行責任者 議長 木野山孝志

住所 広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

第21回 議会クイズ

《クイズ》空欄に適切な言葉をいれてください。

- 1、一般会計 ○〇億2000万円
- 2、一般質問 ○〇〇〇発電を検討
- 3、一般質問 校舎建設中の○〇確保は
- 4、第○回 議会報告会の開催
- 5、○○〇〇絵グループ

《ヒント》議会広報をよく読んでね。

《応募方法》

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。

正解者多数の場合は厳正な抽選により、5人の方に10000円分のやまなみ商品券をお送りいたします。

応募は、1人・1通に限らせていただきます。

《あて先》〒720-1522

神石高原町小島二〇二五神石高原町議会事務局 「第21回議会クイズ係宛」

《締め切り》5月12日(月) 消印有効

《個人情報取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および「まちの声」などの目的以外には利用いたしません。

議会を傍聴してみませんか 次回の定例会は6月です
日程は告知放送などでお知らせします 一般質問はケーブルテレビ放送します

編集後記

平成26年も早くも桜の花が舞う月になりました。神石高原中学校も開校し、生徒たちも新たな気持ちでスタートしたと思います。

「みんなの町議会」の制作にあたっては、広報委員自らの創造性と企画性をもち、またパソコンを有効に使い、一字一句読み合わせをしながら取り組んでいます。写真についても日頃から活動の中で委員が撮影をし、掲載しています。

今後とも、皆様のご意見、ご要望などをお聞かせいただき、広報誌作成にがんばりたいと思っていますので、ご愛読よろしく願います。(橋)

議会広報常任委員会

- 委員長 橋本 輝久
- 副委員長 横尾 正文
- 委員 妹尾幸太郎
- 委員 横山 素子
- 委員 赤木 俊二